

〈日本株〉

9月の展望

業績予想が上方修正された銘柄に注目

9月からは不透明要因の後退に期待

自民党総裁選挙(9月20日)に向けて復興や防災、消費税対策などで大型補正と19年度積極財政の議論が表面化しよう。中国では今下期に金融緩和と積極財政を行う方針を決定しており、10月頃には景気対策が期待される。米国では10月から新年度入りで、インフラ投資の拡大や追加減税政策案も考えられる。

一方、米国は中国製品2,000億ドル相当に対し、追加関税を9月6日以降に発動する可能性がある。仮に発動されても追加関税の主要品目は農産品や衣料、家具であり、日本経済への影響は少ないと思われる。中国側が取り得る対抗措置は徐々に限られてきており、米国製品の不買運動や投資規制、認可の先延ばし程度。貿易戦争の拡大リスクは後退して行く過程に入ったと考える。

足元の不透明要因が後退すれば業績見通しの良好な銘柄を中心に、株価の水準訂正が活発化しよう。具体的には、18年度営業利益の会社計画が8月(27日現在)までに上方修正された銘柄(6ページ参照)が考えられる。(8/29 田部井)

8月の銘柄・業種別騰落率(7/31~8/24)

◆東証1部騰落率ランキング ~BEST10~

コード	社名	業種	騰落率
3627	ネオス	情報・通信	24.1
6920	レーザーテック	電気機器	22.0
5002	昭和シェル	石油・石炭	18.3
5541	大平金	鉄鋼	16.3
6740	Jディスプレイ	電気機器	12.5
6098	リクルート	サービス	12.4
3861	王子HD	パルプ・紙	11.6
9613	NTTデータ	情報・通信	11.4
4519	中外薬	医薬品	11.1
4739	CTC	情報・通信	10.9

~WORST10~

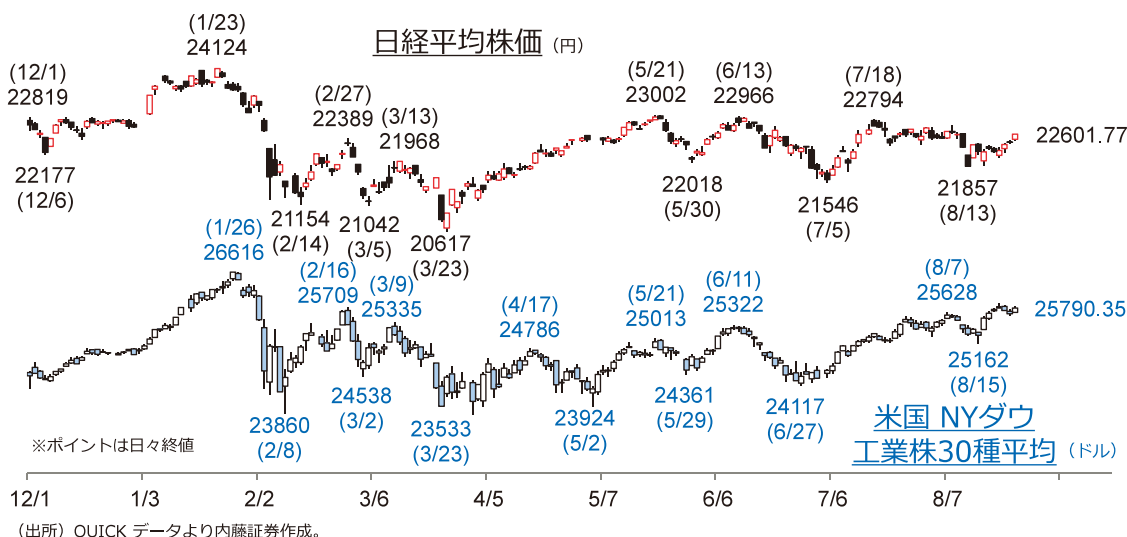
コード	社名	業種	騰落率
8358	スルガ銀	銀行業	-43.7
5706	三井金	非鉄金属	-30.8
3656	K L a b	情報・通信	-27.4
9449	GMO	情報・通信	-24.6
2579	コカBJH	食料品	-21.9
6235	オプトラン	機械	-21.4
2212	山パン	食料品	-21.0
2264	森永乳	食料品	-18.8
6592	マブチ	電気機器	-18.4
1801	大成建	建設業	-18.0

◆業種別騰落率 (%)

業種	騰落率
医薬品	0.6
情報通信	0.2
精密	-1.1
鉄鋼	-1.3
小売業	-1.4
卸売業	-2.0
電機	-2.2
証券商品	-2.2
電力ガス	-2.5
海運	-2.5
TOPIX	-2.5
化学	-2.8
銀行	-3.2
陸運	-3.4
機械	-3.4
自動車	-3.5
繊維	-3.5
がら土石	-5.8
不動産	-6.2
食料品	-6.6
非鉄	-7.1
建設	-9.4

(注) 売買代金25日平均上位5分の1を対象。
(出所) QUICK より内藤証券作成。

◆日経平均株価、NYダウの推移 (日足、17年12月1日~18年8月24日)



8月の市場動向

下旬に再び2万3000円を試す

米国株高、中国株反発で心理好転

7月末の日銀金融政策決定会合では、緩和継続と長期金利の変動幅拡大容認、ETFの購入配分見直しを発表。相場は一進一退の動きとなった。

1日夜にトランプ米大統領が2000億ドル相当の中国製品に対し追加関税を指示すると、上値が重くなった。米国人牧師の解放を巡り、米国・トルコ関係が悪化しトルコリラが一段安。リスク回避の流れで13日に110円/米ドル近くまで円高が進み、日経平均株価は2万2000円を割り込んだ。

16日に中国政府が次官を訪米させ貿易問題について協議すると発表し、景気敏感株が買い戻された。16年1月以来の安値をつけた上海総合指数が、20日夕に中国当局の下支え期待から上昇に転じると、翌日以降、日本株も戻り歩調に転じた。

パウエルFRB議長が24日の講演で、物価が2%を超えて過熱するリスクはないと発言すると、S&P500指数は7カ月ぶりに最高値を更新。米国とメキシコが北米自由貿易協定(NAFTA)再交渉で大筋合意すると、日経平均株価も一段高となり、一時2万3000円を回復した。(8/29 浅井)

◆8月の主な高値更新銘柄 (8月1日～24日)

コード	銘柄	業種	コード	銘柄	業種	コード	銘柄	業種
1518	三井松島産業	鉱業	4547	キッセイ薬品工	医薬品	6413	理想科学	機械
1926	ライト工業	建設業	4641	アルプス技研	サービス	6758	ソニー	電気機器
2327	新日鉄住金S	情報・通信	4666	パーク24	不動産業	6814	古野電気	電気機器
3407	旭化成	化学	4694	BML	サービス	6849	日本光電	電気機器
3627	ネオス	情報・通信	4704	トレンド	情報・通信	7309	シマノ	輸送用機器
3694	オブティム	情報・通信	4709	ID	情報・通信	7408	ジャムコ	輸送用機器
3724	ベリサーブ	情報・通信	4726	ソフトバンテック	情報・通信	7816	スノーピーク	その他製品
3741	セック	情報・通信	4745	東京個別指導	サービス	8002	丸紅	卸売業
3788	GMOクラウド	情報・通信	4776	サイボウズ	情報・通信	8136	サンリオ	卸売業
3826	システムインテ	情報・通信	4812	電通国際情報	情報・通信	8252	丸井グループ	小売業
3836	アバント	情報・通信	4901	富士フイルム	化学	8276	平和堂	小売業
4286	レグス	サービス	4974	タカラバイオ	化学	8628	松井証券	証券・商品
4323	日システム技術	情報・通信	4997	日本農薬	化学	9068	丸全昭和運輸	陸運業
4503	アステラス製薬	医薬品	5357	ヨータイ	ガラス土石	9474	ゼンリン	情報・通信
4519	中外製薬	医薬品	6269	三井海洋開発	機械	9984	ソフトバンクG	情報・通信

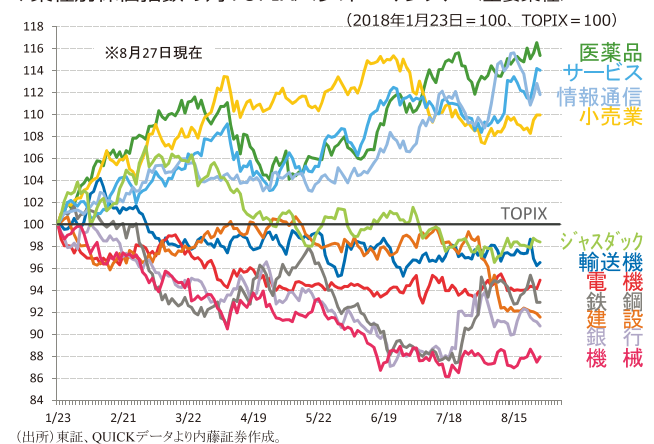
(注) 東証1部上場銘柄より選択。

(出所) QUICK データより内藤証券作成。

◆日経平均株価と予想EPS、PERの推移 (日々ベース、2018年8月27日現在)



◆業種別株価指数の対TOPIXパフォーマンス <主要業種>



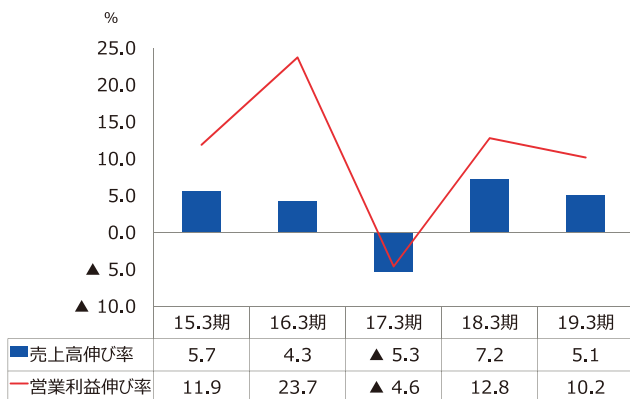
特集

直近の決算集計

19.3期1Q(4~6月)は10.2%営業増益

金融を除く東証1部の3月本決算企業1328社のうち、前年同期比較が可能な企業の19.3期1Q(4~6月)の状況は図1の通り。伸び率は鈍化しているが2桁営業増益を確保。期初の通期会社計画が売上高で前期比2.7%増、営業利益は1.7%増だったことを考慮すると堅調と言える。

(図1) 4-6月の売上高と営業利益の増減率



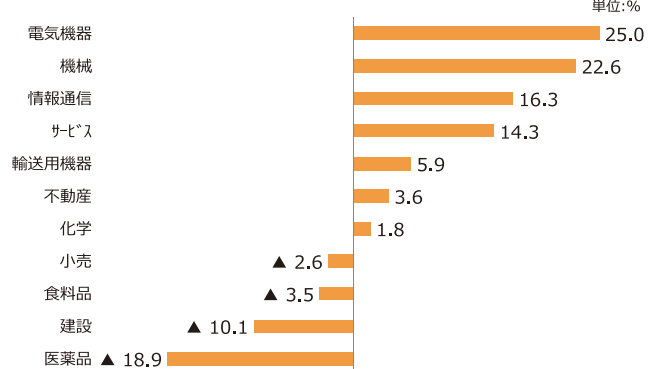
(出所) QUICK より内藤証券作成

業種別では石油、電機・機械が大幅増益

19.3期1Q(4~6月)営業利益の前年同期比変化率が大きい業種を図2に示した。プラスでは、市況改善で石油石炭製品、パルプ・紙が大幅増益(図では以上省略)。半導体関連や車載向け電子部品が好調な電気機器、省力化・自動化投資、インフラ投資が続く機械が目立つ。情報通信はソフトバンクG(9984)のファンド株式評価益計上などによる大幅増益の影響大。サービスは人材派遣やソフト開発などIT投資関連が伸びた。

マイナスでは、海運業は大手3社のコンテナ船事業統合費用によるもので、海運市況は改善傾向(同省略)。医薬品は前期の子会社売却益の反動による武田(4502)や特許切れ影響の第一三共(4568)を除けば概ね好調。建設は好調な前年の反動だが受注頭打ちと採算悪化が気懸かりだ。

(図2) 主な業種別の4-6月営業利益騰落率



(出所) QUICK より内藤証券作成

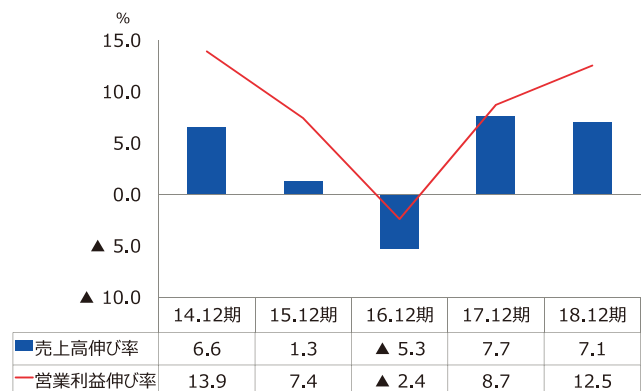
3月期企業の通期計画上方修正は61社

東証1部の19.3期1Q(4~6月)で、通期営業利益計画を上方修正した企業は61社。業種別では日本電産(6594)、ファナック(6954)など電気機器8社、ダイフク(6383)など機械6社、コーセー(4922)ほか化学、非鉄金属5社など。

18.12期上期(1-6月)は12.5%営業増益

金融を除く東証1部の12月期本決算企業は220社。3月期企業同様、前年同期比較が可能な企業の状況は図3の通り。1月末の期初時点における通期会社計画の営業利益伸び率は8.1%増。上期は計画を上回って推移している。

(図3) 1-6月の売上高と営業利益率の増減率

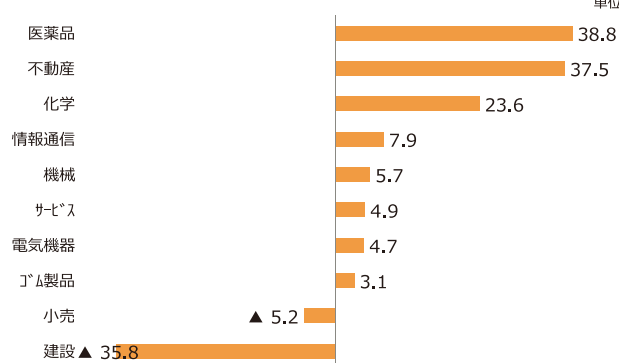


(出所) QUICK より内藤証券作成

18.12期上期は石油や繊維、医薬品などが牽引

18.12期上期(1-6月)の業種別で営業利益伸び率の変化が大きいものは、プラスは石油石炭製品、金属製品(同以上省略)、医薬品は中外薬(4519)、大塚HD(4578)が好調、化学は製品市況上昇によるほか、化粧品の好調も寄与した。一方、マイナスは鉄鋼の50%減、建設の36%減が目立つが、それぞれ3社と1社の個社要因。

(図4) 主な業種別の1-6月営業利益騰落率 単位:%



(出所) QUICK より内藤証券作成

12月期企業の通期会社計画の上方修正は40社

東証1部の18.12期上期(1~6月)決算企業で通期の会社営業利益計画を上方修正した企業は40社。うち、昭和電工(4004)、東海カーボン(5301)、カーボン(5302)は複数回上方修正をしている。この3社の共通点は電炉鋼の電極として使用される黒鉛電極メーカー。中国の環境対策強化に伴う中国での電炉鋼生産増などによる需給逼迫が要因。

上方修正せず進捗率の進んでいる企業に注目

東証1部の3月期と12月期の企業で直近に上方修正した企業は「銘柄スクリーニング(P6)」で紹介するため、今特集では進捗率の進んでいる企業に注目した。

原油や銅価格などの市況に業績が連動する銘柄、受注型企業の銘柄は年度毎に進捗率のブレは出る。しかし、事業構造が変化していない場合の進捗率は概ね前年同期並みとなる。3月期と12月期企業で上方修正をしておらず、前年同期比で進捗率2桁の差異がある企業を選定した。上方修正予備軍の企業として注目しておきたい。(高橋)

(表1) 前年同期に対して進捗率が高い3月期企業

コード	社名	主な業種	4-6月進捗率の 前年同期比較 (%)		今期会社計画 営業利益伸び率 (%)
			18.3期	19.3期	
1983	東芝プラントシステム	プラント設計・工事	5	15	▲1.2
2784	アルフレッサHD	医薬品卸	15	28	▲14.7
3861	王子HD	段ボール・板紙	17	28	41.3
3880	大王製紙	製紙・パルプ	7	24	62.7
4676	フジ・メディア・HD	テレビ(地上波)	14	24	1.0
4974	タカラバイオ	バイオ創薬	7	31	40.6
5020	JXTGHD	石油	9	46	0.5
5021	コスモエネルギーHD	石油	11	33	5.5
6305	日立建機	建設・土木機械	17	31	▲12.3
6412	平和	パチンコ・業務ゲーム	30	45	93.8
6417	三共	パチンコ・業務ゲーム	▲23	11	17.9
6448	ブラザー工業	複合機・プリンター	19	32	1.9
6702	富士通	総合電機	3	57	▲23.3
6754	アンリツ	計測・分析機器	▲4	25	34.4
6857	アドバンテスト	半導体・液晶製造装置	11	46	40.9
8002	丸紅	総合商社	26	41	22.8
9435	光通信	携帯電話販売・取次	20	30	11.1
9513	電源開発	電力供給	26	37	▲19.5
9697	カブコン	家庭用ゲームソフト	5	30	6.0

(表2) 前年同期に対して進捗率が高い12月期企業

コード	社名	主な業種	1-6月進捗率の 前年同期比較 (%)		今期会社計画 営業利益伸び率 (%)
			17.12期	18.12期	
2211	不二家	製菓	15	39	103.9
3302	帝国繊維	防犯・防災機器	42	85	6.7
3445	RS Technologies	シリコン・同ウエハー	47	58	26.5
4519	中外製薬	医療用医薬品	51	62	9.2

(出所) QUICK より内藤証券作成

営業利益を上方修正した東証1部銘柄

◇今期の営業利益計画を上方修正し、株価が上昇基調または戻り歩調にある銘柄

(選択条件)

- TOPIX採用銘柄（東証1部）のうち時価総額100億円以上
- 今期の営業利益計画（会社予想）を上方修正し、上方修正前と比較した修正率が2%以上
- 株価が上昇基調継続または年初来高値を付けた後の安値から戻り歩調にある銘柄
これらをチャート形状などから選択。（データは8/27日現在）

※業績予想は変更される場合がありますのでご注意ください。

(円、億円、%)

コード	銘柄	業種	株価	決算期	営業利益		修正率	1株配当	配当 利回り
					(前回)	(今回)			
2384	S B S H D	陸運業	1,314	18/12	70	75	7.1	21.0	1.60
3673	ブロードリーフ	情報・通信	686	18/12	33	39	18.2	12.0	1.75
4004	昭電工	化学	5,330	18/12	1,370	1,700	24.1	90.0	1.69
4189	K Hネオケム	化学	3,935	18/12	105	108	2.9	54.0	1.37
4321	ケネディクス	サービス業	683	18/12	123	140	13.8	7.0	1.03
4902	コニカミノル	電気機器	1,104	19/3	600	620	3.3	30.0	2.72
5002	昭和シェル	石油・石炭	2,211	19/3	980	1,580	61.2	106.0	3.84
5017	富士石油	石油・石炭	479	19/3	104	127	22.1	8.0	1.67
5019	出光興産	石油・石炭	5,540	19/3	1,540	2,200	42.9	100.0	1.81
5357	ヨータイ	ガラス・土石	962	19/3	24	36	50.0	10.0	1.04
5363	T Y K	ガラス・土石	492	19/3	17	27	55.9	6.0	1.22
5480	冶金工	鉄鋼	361	19/3	84	95	13.1	6.0	1.66
6078	バリューHR	サービス業	2,238	18/12	4.67	5.39	15.4	21.5	0.96
6141	DMG森精機	機械	1,797	18/12	350	380	8.6	50.0	2.78
6269	三井海洋	機械	3,410	18/12	100	120	20.0	42.5	1.25
6292	カワタ	機械	2,274	19/3	13	15	19.2	20.0	0.88
6383	ダイフク	機械	5,530	19/3	460	480	4.4	75.0	1.36
6413	理想科学	機械	2,642	19/3	38	40	5.3	60.0	2.27
6616	T O R E X	電気機器	1,722	19/3	19	20	5.3	38.0	2.21
6770	アルプス	電気機器	3,300	19/3	600	660	10.0	50.0	1.52
6976	太陽誘電	電気機器	3,330	19/3	210	245	16.7	20.0	0.60
7003	三井E & S	輸送用機器	1,750	19/3	100	120	20.0	—	—
7731	ニコン	精密機器	2,067	19/3	700	740	5.7	54.0	2.61
7816	スノーピーク	その他製品	1,739	18/12	2	6	200.0	12.5	0.72
9064	ヤマトHD	陸運業	3,352	19/3	580	610	5.2	28.0	0.84
9119	飯野海	海運業	557	19/3	62	64	3.2	10.0	1.80
9143	S G H D	陸運業	2,621	19/3	630	660	4.8	35.0	1.34
9605	東映	情報・通信	12,390	19/3	136	172	26.5	60.0	0.48
9702	アイエスピー	情報・通信	2,269	18/12	7.2	8	11.1	25.0	1.10
9830	トラスコ中山	卸売業	2,859	18/12	133	136	2.3	35.5	1.24

(注) 業績数値は会社予想、配当金は日経予想。昭和シェルは15カ月決算、スノーピークは貸株注意喚起銘柄

(出所) 会社資料、QUICKデータより内藤証券作成

(北原)

9月の
スケジュール

米通商政策と金融政策動向を意識

日付	曜日	国内	海外
3	月	・法人企業統計調査<速報値> (4~6月) 8:50	・中国/財新 製造業PMI (8月) 10:45 (米国 / 労働感謝の日 Labor Day)
4	火	・マネタリーベース (8月) 8:50	・米/ISM製造業景況感指数 (8月)
5	水		・米/貿易収支 (7月)
6	木		・米/ADP全米雇用リポート (8月) ・米/ISM非製造業景況感指数 (8月)
7	金	・家計調査 (実質消費支出) (7月) 8:30 ・毎月勤労統計 (7月) 9:00 ・景気動向指数<速報値> (7月) 14:00	・ユーロ圏/GDP <確報値> (4~6月) ・米/雇用統計 (8月、失業率・非農業部門雇用者数) ・中国/貿易収支 (8月) ※8日
10	月	・GDP成長率<第2次速報> (4~6月) 8:50 ・国際収支状況<速報値> (7月) 8:50 ・景気ウォッチャー調査 (8月)	・中国/生産者・消費者物価指数 (8月) 10:30 ・中国/貸出純増額、マネーサプライ (8月) ※10~15日
11	火	・工作機械受注<速報値> (8月) 15:00	
12	水	・法人企業景気予測調査 (7~9月) 8:50	・米/生産者物価指数 (8月)
13	木	・機械受注統計 (7月) 8:50 ・企業物価指数 (8月) 8:50 ・東京オフィス空室率 (8月) 11:00 ・首都圏マンション販売 (8月) 13:00	・米/地区連銀経済報告 (ページブック) * ・米/消費者物価指数 (8月) ・ユーロ圏/ECB理事会 ・英/中銀金融政策委員会 (MPC)
14	金		・中国/鋳工業生産、小売売上高 (8月) 11:00 ・中国/固定資産投資 (8月) 11:00 ・米/小売売上高 (8月) ・米/鋳工業生産・設備稼働率 (8月) ・米/ミシガン大学消費者信頼感指数<速報値> (9月)
17	月	(敬老の日)	・米/NY連銀製造業景気指数 (9月)
18	火	・日銀金融政策決定会合 (~19日)	
19	水	・貿易統計<速報値> (8月) 8:50 ・日銀総裁会見 15:30 ・訪日外国人客数 (8月) 16:00	・米/住宅着工・許可件数 (8月)
20	木	・半導体製造装置販売額 (8月) 16:00 ・東京ゲームショウ2018 (幕張メッセ、~23日) ・自民党総裁選挙	・米/フィラデルフィア連銀景気指数 (9月) ・米/中古住宅販売件数 (8月)
21	金	・消費者物価指数 (全国、8月) 8:30	・ユーロ圏/Markit 製造業PMI<速報値> (9月)
24	月	(秋分の日 (振替休日))	(中国本土 / 中秋節)
25	火	・金融政策決定会合議事要旨 (7月会合) 8:50	・米/FOMC (連邦公開市場委員会、~26日) (香港 / 中秋節の翌日)
26	水		・米/新築住宅販売件数 (8月) ・米/FRB議長会見
27	木		・米/GDP (4~6月) <確報値> ・米/耐久財受注<速報値> (8月)
28	金	・消費者物価指数 (都区部、9月) 8:30 ・労働力調査 (失業率等) (8月) 8:30 ・鋳工業生産<速報値> (8月) 8:50 ・金融政策決定会合主な意見 (9月会合) 8:50	・中国/財新 製造業PMI (9月) 10:45 ・ユーロ圏/消費者物価指数<コア・速報値> (9月) ・米/個人消費支出 (PCE) コアデフレーター (8月) ・中国/国家統計局・CFLP製造業PMI (9月) ※30日

(注) 赤字は注目指標、緑字は中国関連指標、青字は休場、※は記載日にかけて発表予定、*は日本時間翌日0:00以降発表。